

## 支えあいのまちづくり協議体(京橋地域)実施報告

中央区に住む方・働く方ができる支えあいの形について、身近な地域で話し合う「支えあいのまちづくり協議体(第2層協議体)」の令和6年度第2回目を、京橋地域で開催しました。

### 1 実施日

令和6年7月30日(火)10:00~11:30

### 2 出席者

日頃高齢者と関わる機会の多い地域住民、関係機関、生活支援コーディネーター 10名

### 3 内容

- ・出席者近況報告
- ・令和6年度第1回地域支えあいづくり協議体の報告
- ・意見交換 ①きらきらいふ京橋人~ゆるっとつながる~第7号について  
②今後の協議体の取り組みについて

### 4 意見交換 ①きらきらいふ京橋人~ゆるっとつながる~第7号について

コーディネーターより第7号案を提示。意見交換を行い、以下の意見があがった。

- ✓ 「喫茶アラジン」なので、喫茶の様子分かる写真があるとよいのでは？
  - ✓ ひとりでも気軽に行けることが分かるような掲載があるとよいのではないか  
→ランチの情報も掲載してみてもどうか？
  - ✓ 掲載したい内容はたくさんあるが、焦点をしぼって情報を絞ることも大事。掲載しきれない分は二次元コードから情報を提示する手段もあり。
  - ✓ 社会資源のひとつとして喫茶アラジンがあることを伝えたい。
- 上記の意見を踏まえ、コーディネーターが修正し、メンバーに確認後発送することとなった。

### 意見交換 ②今後の協議体の取り組みについて

メンバーより、経済産業省のHPに掲載されていた、行政と企業とが連携して買い物の支援を行っている事例の共有があった。

- ✓ 中央区の特性として企業が多いという点がある。住んでいる人のみでの支え合いは難しいので、企業が多いという強みを生かして企業と連携した取り組みが行えたらよいのではないか？
- ✓ 区でも「高齢者の見守り活動に関する協定書」を事業者と締結。日常業務の中で異変を感じたらおとしより相談センターに通報してもらう仕組みであるが、そこから先への具体的取り組みまでにはつながっておらず、何かできるだろうか。
- ✓ 認知症サポーターに関して、地域貢献として多くの企業が受講をしている。地域により差異はあるが、具体的な活動にまではまだつながっていないのが現状である。
- ✓ ある保険会社では積極的にSDGsの活動を行っているようであるが、そのような民間企業の受け入れ窓口はあるのだろうか。ないのであれば、そのようなツールを作ることも協議体

の取り組みとして想定できる。

- ✓ 福祉施設では企業が出張をしてくれ利用者が施設にいながらも買い物ができる機会があるが、担当者が代わると関係性がなくなってしまうことがある。
- ✓ 私たちにできることから取り組むことが大切ではないか。社会資源を地図に落とし込む作業を行ったが、社会資源の足りない地域に働きかけてみるのはどうか？その際に企業とも連携できたらよいのではないか。
  - 地域住民の共通の課題としてあるのは、買い物に関する資源が足りていないこと。その他、高齢者が抱える課題に関しては、まだ把握しきれていないことが多いのではないか。そこをもう少し掘り下げる必要がある。区のアンケート(中央区高齢者の生活実態調査および介護サービス利用状況等調査報告書)をもとに課題の抽出を行ってみてはどうか？
  - 課題がはっきりすることで、企業に協力してもらいたいことも明らかになるのでは？
- ✓ 買い物に関しては、ネットスーパーがあればなんとかなると思ってしまうが…
  - スマホを使える高齢者は少ない。携帯電話会社でもスマホを教えてくれるが、入り口のみ。伴走支援ではないので、その都度その都度聞きに行くしかない。
  - 購入のサポートを行える場があればよいのでは？しかし、購入のサポートは責任が生じる。
- ✓ 以前にも話が出たが、ツキチカ!を利用して気軽に足を運べる場を作ることは大事ではないか。
  - 「高齢者の生活実態調査」と共に、直接抱える課題を聞くことができるのでは？
  - 人が集まるかどうかは難しいと思うが、1回やってみることも大事
  - あまり出てこない人たちをターゲットにできたらよい 例) 野菜相談会、買い物ツアー

## 5 今後のスケジュール

次回開催日は10/29(火)10:00~11:30 場所:ツキチカ!で決定。

今後の取り組みについて意見交換をする予定。

### <参考> 意見交換の様子

